

価値判断の変革期

鶏口となるも牛後となる勿れ

94

多事多難だった今年も、あと一カ月足らずになった。

一、ドラフト会議

①優秀な野球選手には多くの球団から一位指名される。憧れの球団にくじ引きされれば良いが、思うようにいかないのが世の常。入団するかしないかで揉める場合もある。ブランド志向が根強いのだろう。

②就職難といわれる昨今でも一流企業病が多すぎる。社会に揉まれ、世間を知っていると一流が必ずしも良いとは限らないことに気付き、人生観の軌道修正を行うようにもなる。

③オリックスのイチローは人気者でヒーローだ。「オリックス」は何をする企業か知っている人は意外と少ない。イチローが他球団にいたならば才能が発揮できたかどうかは疑問だ。むしろ、オリックスだったからこそ開花したともいえる。

④就職先が決まらずに困っている学生さん！中小・零細企業でも立派な企業内容の所はいっぱいある。入社できる企業を天命と思つて頑張ってみることだ。自ずと道は開けてくる。

二、冬眠から目覚める

①バブル期に手広く活躍していた不動産関連業者がいた。バブル崩壊により含み損を抱えこんでしまった。バブル崩壊による精神的ショックで虚脱状態に陥っていた。

②崩壊から約五年が経過。精神的な立ち

直りと経済環境が良好になったことや、土地の値下がりも先が見えてきたため活動の条件が整ってきたともいえる。

③件の業者の話では、冬眠してじつと耐え忍んでいたが、いつまでもというわけにはいかない。不動産の値下がりによる損失を覚悟のうえで、再び活動を始めることにしたという。このような考えの業者がこれからは多くなるのではと思われる。

④不良債権処理も目処がつきつつある。来年は不動産関連企業が本気で動きだす年になるのでは。景気回復はかなり堅調なものになる予感がする。

⑤金融機関等は抵当権を設定している不動産を、実際に売却できる価額で換金するようにしたらよいのではないか。不良債権の処理とは抵当不動産の処分・換金・損金処理ということでもある。

三、マスコミと天敵

①またかと思つた。NHKの職員が酒に酔つてタクシーの運転手に暴行した。「局に行け」といわれてどこの局かと問うたら、天下のNHKを知らぬとは何事かということになったらしい。

②官庁とNHKは月給を稼ぐことの苦勞を知らない。公務員はマスコミが怖いらしい。「公務員の天敵はマスコミ」ということでそれなりの遠慮があるようだ。

③然るに、マスコミは同業の不祥事を大きく取り上げない。マスコミには天敵がない。広告主や国民が監視役ということか。

実現可能な夢を

五年ぶりに木下大サーカスを見た。動物のステージが多くなった。鍛錬すれば曲芸が出来る。絶世の美女が印象的だった。

一、視野を広く

①十一月初めに飛騨高山から能登半島へ行った。寒波が到来。白山スーパール海道は閉鎖。紅葉した木々が雪で化粧され、趣きはあった。

②飛騨地方には高い水準の文化が生き続けているのに感動した。山陽地方では立派な瓦を誇らしげにのせた農家が多いが、飛騨地方は合掌造りか板葺の上に川石を置くのが標準的な屋根だった。

③岡山地方の気候温暖な感覚で、各地を同様に判断するのは短絡すぎる。人間関係においても自分の価値観のみで相手を人物評価するのは危険だ。

二、チンチン電車

①「路面電車と都市の未来を考える会」が設立され、熱心に路面電車の環状化を訴えている。岡山の活性化を目指して多方面で、熱情を注ぎ活発に実行しているボランティアグループ。

②軌道敷を現実化させるのは無理だろう。代案を考えるのが得策か。自動車を洒落た電車風に改造しチンチンというクラクション音にするなど趣向を凝らす。数通りの環状周遊コースを時刻表なしで常に一定間隔で走らせる。

③高齢化や観光対策事業の一環と位置付

けて、第三セクター方式で公的資金を投入する。官が入ることの良さは、マスコミなどによる宣伝効果が期待できるメリットもある。行き場のないお年寄りが一日中チンチン電車に乗って市内を巡回するのも楽しいではありませんか。

④岡山中心部の活性化のために足の便を良くすることは大切なことだ。知恵を出し合って将来をふまえた夢のある、現実達成できる楽しい岡山の街づくりを考えてみませんか。

三、中心部に公園を

①「おかやま・街づくりワークショップ'94-'95」(県庁建築指導課)の研究成果のひとつでロマンが溢れ実現させたい試案。西川アイプラザのある下石井公園のあくら通りからチサンマンションのある県庁通りまでの間の市道の供用を廃止して、西川を含めた東西三五m、南北二五〇mの区域を都市公園にする。約八、八〇〇㎡の公園が誕生する。

②札幌の大通り公園のように開放的にし、ステージや大道芸が行え、かつ、朝市・ほろ市のようなイベントを兼ね揃えた多目的公園にする。交通が遮断されるから最初は不便だが、一方通行と同じで慣れてしまえば不満も解消する。反面、水と緑のオアシスが中心部にできるメリットは非常に大きい。

③岡山駅前から表町への中継基地としての役割と休日が多くなる社会構造の中にあつて、近場でゆっくり遊べる機能を兼ねる良いアイデアだと思う。賛同を得て是非現実のものにしたい。

超低金利政策

業務純益が過去最高

92

十一月に入り日が短くなった。夜長をどのようにお過ごしでしょうか。紅葉も見頃。小旅行に行ってみませんか。

一、カレンダー

①来年のカレンダーが届いた。私は自分に書き込みの出来る大型のカレンダーを内輪で作っていた。分けて欲しいという人が年々多くなり本数が増加。年間四億本が全国に出回るそうだ。埃をかぶって死蔵されたままのカレンダーも相当数に上っているはず。

②来年は連休が目立つ。土・日が休みの企業であれば三連休、四連休も珍しくない。仕事が主で休みが従のはずだが、休みが主になり仕事が従という「休みボケ症候群」が社会問題化する時代が来るかも知れない。

③実労働当りの給料計算をすれば、経費負担も多いため思っている以上に結構高い日当になるはず。自分の日当に見合う中身の濃い仕事をしているかどうか考え直すのも必要なことかも知れない。

二、文化勲章と学問

①高梁市出身の団藤重光先生が受賞された。岡山県民として誇りに思う。刑事学の権威で重鎮。団藤先生の本で勉強した。学生にとっては雲の上の偉い人に思えた。

②吹けば飛ぶような私如き者とは比較すること自体がどだい無理な話だが、平等に与えられた一日二十四時間の利用の仕方、長い年月の間にだんだんと格差が広がり、

雲泥の差になる。

③学問はなくても真剣に日々努力してきた人は一廉の人になっている。企業も個人も「学習の時代」に入っている。伸びる企業はどんな小さな相手からでも有益だと思う点があれば三顧の礼を尽くして教えを請う。戦後五十年が経過した。価値体系が根底から変革される時代に入っている。

④約三十年前に教わった先生を懐かしく思った。中央大学の瀝美東洋教授がオウム真理教の番組でテレビ出演されていた。弱冠三十歳前後の若手の先生だった。全然老いを感じさせない若々しい風貌に驚いた。積極的に人材を登用するマスコミを評価したい。

三、利ぎやの拡大

①公定歩合は〇・五%。金融機関が過去最高の業務純益を上げている。資金調達金利の低下により利ぎやが拡大。結果的には金融機関を救済したことになった。不良債権の問題は今世紀中は解決しないから低成長時代が長引くと考えられる。年金や金利で生活している人達にとっては深刻な時代が続く。

②日本が有する預貯金は一、一〇〇兆円。年利一%上下することにより一〇兆円が動くことになる。金融機関は扱う金額の総量が膨大だから少しの金利差により利益が大きく左右される。もっと利ぎやを小さくして融資に魅力をつけ、借る側に心理的な動機づけをする努力も必要ではないか。

リーダーの資質に左右される

良い時候になった。夜明け前、ぐっと冷え込むのが晴れの国岡山の特徴。

一、赤坂天然ライス

①中山間地帯にある赤磐郡赤坂町は五人余りの町。高齢化・過疎化が進んでいる。県庁OBの難波氏が町長を勤め、自由闊達な実によくユニークな施策を行なっている。

②すでにいくつかの注目すべき町政を行なって来た。稼働が始まった第三セクターによる「米」を加工して付加価値を付けた「ご飯」を売る株式会社を作った。大手商社と提携して地元の朝日米でおにぎり、寿司などを販売会社に全部買い取らせるシステム。

③難波町長の偉いと思うところは一切接待をしないという姿勢。官・官接待が問題になっているが、別段飲み食いをしなれば仕事ができないわけではない。

④官主導で成功した例である。民主導でなく、官主導の場合はリーダー（町長）の指導力と信頼関係が強力でなければ成就しない。美しい自然と豊かな風土に恵まれた赤坂町に誕生した炊飯工場が民間との販売競争に打ち勝って生き残ることを祈念する。

二、新庄村の「道の駅」

①県の北西に真庭郡新庄村はある。千人強の村。高齢化が進行している。村長小倉氏は議員秘書を経験した人である。非常に発想の豊かな人。

②「メルヘンの里・新庄」を全国に売り

出すために特別村民制度を設けている。村人口と同じ程度の登録者がいる。定期的に村で穫れた特産品を届ける。安定収入と村民の生き甲斐に役立っている。

③同村の「毛無山」はブナなどの天然林があり、自然を愛する登山者に喜ばれている。「凱旋桜」という出雲街道沿いの桜の名所には多くの人が訪れる。歴史と自然が残っている村に「道の駅」が最近開店した。小さな村が生き残るために懸命な努力が続けられている。

三、チボリ公園が着工

①紆余曲折があつた倉敷チボリ公園の起工式が行われた。高齢化社会の進行する中で県民に憩いの公園を作ることには必要なことであり期待感も大きい。着工に漕ぎ着けたことは大きな意義がある。

②文化の香り高い都市型公園が岡山県に存在しても良い。気軽に行けて、一日中楽しめるようなものがあれば幸せだ。定年後、どのようにして時間を過ごすかは切実な問題。図書館や美術館など同一概念の延長線上の公的施設であるから採算性がとれなくても公費を投入すれば良いのではないか。

③倉敷にとっても美観地区とチボリ公園の両目玉が倉敷駅を挟んで出来る。それぞれの特徴を生かし、どのように県民や観光客を引き付けるかがこれからの倉敷市の「街づくり」の課題。集客力と満足させられる施設はどのようにあるべきか！全国のモデルケースになるはずだ。

活性化の切り札

街づくりは人づくり

90

収穫の秋。稲の刈り取り風景はのどかだ。インフラの充実により台風の被害は少なくなった。

一、街づくりの原点

①県庁の建築指導課の下で『おかやま・街づくりワークショップ'94-'95』が行われている。物見遊山でなく真摯な視察で滋賀県長浜市へ行った。

②第3セクター方式による黒壁(株)（クロカベ）が、北国街道沿いの一角で街づくりに成功。街が寂れたので何とかしなければと街の経営者が中心になって『ガラス』で再生を試みた。民間主導。官はお金は出すが、口を出さない方針。

③訪問客が年間一〇〇万人、売上げ五億円以上になり経済効果は大。大阪・神戸方面から若い女性客が大勢来る。平成元年七月オープンだから六年しか経っていない。黒壁という名のつく店舗が18号館までに増加。

④成功の秘訣。◎民間主導◎歴史の遺産を地元と競合しないガラスで再生◎女性スタッフの感性をフルに活用し、営業を任せ◎地元の商店街も変身に懸命◎市民が物心とともに献身的な協力を惜しまない姿勢◎官の担当者が真剣に街づくりに取り組む適任者、等々。

⑤黒壁(株)による街づくりを分析すれば事業が成功するためには何が必要なのかが解る。私は不動産鑑定で培ったノウハウをベースに『街づくり』を官・民の共通課題と

して試行錯誤し、良い街づくりを後世に残せるように勉強・研究し我が人生のこれからのライフワークとして情熱を燃やしたい。

二、不良債権

①『不良』のイメージは悪い。不埒な金融機関ならいざ知らず、最初から不良債権になると思っ金貸す者はいない。しかし、残念ながら回収が困難になり延滞債権・破綻先債権が天文学的数字になっているのも現実。

②金融機関が与信行為をする以上不良債権は生じる。不良債権の発生を恐れるなら貸出を止める以外にない。リスクを前提に経営が成り立っている。保険機構もその担保のためにある。

③朝日新聞「論壇」に日本住宅金融相談役の庭山氏が「金融政策の失敗と政府の責任」を論述している。金融機関も反省すべき点が多いが、大蔵省と日銀のしている金融統制が一番間違っているという主張には説得力がある。

④土地の値下がりが続いている。ここ自分の間はこの傾向が続くのではないか。バブル崩壊が表面化してから四年余が経過。政治の混迷と同様、ズルズルと今日に至っている。税金面での不動産に対する規制緩和が必須条件。

⑤地価の変動率に一喜一憂せず、長期のスパンで土地を見る限り、右上がりのカーブを描いている。底値へ近づきつつあるから、徐に物色するのが得策かも知れない。

プロの良心と信念

一年中で一番寒い頃。家を失った被災者は大変だろう。「冬来たりなば春遠からじ」元気を出して欲しい。

一、夏目漱石

①「漱石のちょっといい言葉」という新刊本（日本実業出版社、長尾剛著）がある。それによると、文豪漱石は小言・意見の達人だったそうだ。

②誰もが耳を傾け、大いになづき、その言葉を大切に胸にしまって人生の糧とし、ありがたいと思った。漱石の文章に魅力のある理由、常的にを得ていた。

口、独自の見解によるもので、決して平凡ではなく漱石でしか言えないものだった。

ハ、相手を傷つけないように言葉を選ぶ優しさがあった。

ニ、表現が平易な論理展開と巧みな喩えでわかり易かった。

ホ、真摯な態度が貫かれていた。

③昨今では、情報の収集・管理・発信に正確かつ迅速さらに良質の高度な情報が要求される。「間違っていました。すみません。謝罪します」では世の中が許してくれない。心すべきことである。文章を書く時の参考までに。

二、堪走（たんそう）能力

①「海商法」という講座があった。教授が堪航（たんこう）能力担保義務について講義した。今思えば当然のことだが、当時は世間知らずのため新鮮な思いがした。

②海上運送人は船舶が安全に航海するのに必要な準備を整えておく義務があること。さもなければ、無過失責任を免れない。言ってみれば当たり前のことだ。

③新幹線や高速道は料金を徴収し高速で、走行させることを目的としている以上それに耐えるだけの施工・設備が整っていないければならない。建設当時の耐震基準に合格していても、その後の見直しによる強化された基準が遡及されなければなるまい。補強するなど最大限の善管注意義務が要求される。私は堪走能力（造語）という概念が生まれるはずだと思ふ。

④仮りに、走行中に大量の死者が出ていれば過失往来危険罪などの適用が免れなかったかもしれない。不可抗力だけではすまなくなる。

三、教訓・プロの話を謙虚に聞くこと

①須磨区に板宿商店街がある。周辺の家屋は全半壊したようだが、ほとんど無傷で地震の翌日から営業が出来た。

②バラックを共同で建てかえる時に設計事務所が杭を打ち込むことを粘り強く説得した。砂上の楼閣であれば倒壊したであろう。時間とお金が余分にかかり無駄のようであったが、結果的には命拾いしたことになった。

③「士族」をはじめプロは良心に従って自己の信念を表明することが大切である。私もプロの良心に恥じないように確信に基づき、責任の持てる仕事をしなければと改めて肝に銘じた。

新年に信念と行動を

75

平成七年は大きな変革が起こるような予感がする。激動の年になるだろう。

一、初日の出

①元旦の初日を拝むのを習わしにしている。数年ぶりに初日が拝めた。冷たい空気の中で見る太陽は気分が一新され勇気と希望が湧いて来る。

②両備運輸の御座船でクルージングした。

小豆島から昇る太陽を海上から万感の思いを込めて合掌した。

③私の今年の抱負。「時間のリストラ」を試みたい。時間は自分でコントロールできる。合理的な時間配分に努め、無駄なことは避ける。創意工夫をして時間的な余裕を作り、精神的にリッチな生活を目指してみたい。

二、デフレなき景気回復

①株式や土地が下落を続け、ズルズルと奈落の底に落ちていっているような気がする。価格破壊で安くなっている物もある。反面、公共料金や賃金は上昇傾向を続けている。日本経済全体のバランスがとれる賃借対照表にしなければなるまい。資産デフレが経済に悪影響を及ぼしていることは明らかであるからデフレの克服が課題。

②景気回復策をとればインフレになると心配する向きもあるが、現状ではデフレにならないように施策すべきである。経済は生き物であるから貸方と借方のバランスがとれていれば上手く生き抜いてゆける。

③規制緩和、年功序列制度、賃金の恒常

的な春闘、公共料金の料金体系の見直しなど、議論が活発化する年。

④過渡期にあたるため守旧派による抵抗と生みの苦しみなど、犠牲が伴うことは避けられない。混沌とした時代だからこそ確固たる信念を持って猪突猛進で行動に移さなければならぬ。

三、警察は本気

①岡山市議員が健康保険法違反・詐欺の疑いで逮捕された。不祥事は毎度のことだ。前に、市議員の疑惑について書いたところ、多くの市職員から力強い激励を受けた。県警捜査二課が指揮をとっている点を見逃してはならない。本気で一気呵成に浄化作戦に打って出るのでは？

②報道によれば、市の職員が車で病院まで数回送っている。勤務時間内に小使いのようにあしらわれている。労務管理はどうなっているのだろうか。市長をはじめ幹部職員の台慢と職員と議員相互の不明朗な癒着は弾劾されるべきだ。

③頼りにできるのは警察だけ。市の職員は公務員であることを自覚し、捜査に協力するのはもちろん毅然たる態度で不正を告発する義務がある。警察は市民が応援しているのだから、徹底的に捜査して欲しい。新年は信念に基づいて社会正義のため行動あるのみ。

④市役所は夜遅くまで電気がついていますが、過労死しないように十分気をつけて下さい。老婆心ながら。